

2020年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（後期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（博物館学） <input type="checkbox"/> 共通外国語（）
出題の意図	<p>問1の論述形式問題において、博物館学を専門分野として修士課程で学修するにあたり、当該分野で必要とされる基本的な事項に関する知識、およびいままで蓄積されてきた研究成果の理解度を確認するとともに、論理的な思考や記述ができるかどうかをみる。</p> <p>問2の事項説明問題において、当該分野における基本的な概念や用語などの知識を確認する。</p>

2020年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 博物館学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 3枚を配付する。

解答は、問1、問2について、別々の解答用紙に記入すること。

問1 論述形式問題

つぎの(1)、(2)のうちから1つを選び、解答用紙1枚程度の分量で解答しなさい。

(1) 〈博物館研究〉

日本国内における博物館経営に関する2000年以降の新しい動向について論じなさい。
(政策、関連法令、経営形態、事業、広報、資金調達、利用者などが対象)

(2) 〈文化財研究〉

文化財の保存と活用について、日本国内における具体例を1つあげて論じなさい。

問2 事項説明問題

つぎの(1)～(10)のうちから5つを選び、それぞれ5行程度で説明しなさい。
(問1とは別の解答用紙を用いて、選択した問題番号と事項を記入すること。)

- (1) テンプルとしてのミュージアム、フォーラムとしてのミュージアム
- (2) 博物館におけるICTの活用
- (3) ユネスコのミュージアム勧告(2015)
- (4) ICOM京都大会(2019)
- (5) サラ・バートマン(Sarah Baartman, 1770年代-1815年)
- (6) 平取町立二風谷アイヌ文化博物館
- (7) 法隆寺金堂壁画
- (8) 同朋衆
- (9) 人間国宝
- (10) 木田金次郎(1893-1962)